

防災教育に役立てて

建設業協会 県教委にDVD寄贈

県建設業協会は18日、教育現場向けに制作したDVD「防災と減災」2000枚と、漫画冊子「知られざる英雄たち」4000冊を県教委に贈った。

県庁で贈呈式があり、佐藤博俊会長が「地域の建設業は地元の安全を支える危機管理産業。各学校で活用してほしい」と話し、高橋

仁県教育長にDVDを手渡した。高橋教育長は「子どもたちの建設業の仕事への意識も高まる」と礼を述べた。

DVDはアニメキャラクター「ぼっさいちゃん」が地震発生時の身の守り方を解説。漫画は寸断された道路を救助隊が通行できるよう、がれき撤去などに奮闘

する建設業者の姿を描いた。加美町出身の漫画家いがらしみきおさんが監修した。

いずれも県内の幼稚園、小中高校に配布。7月には仙台市教委にも贈呈する。

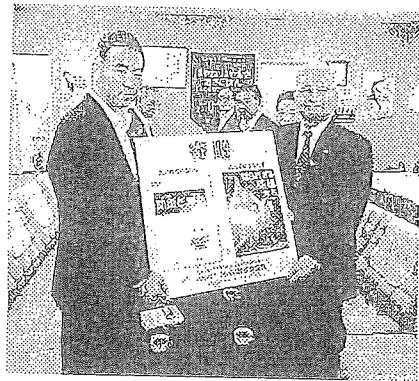


県建設業協会が寄贈したDVD(右)と漫画冊子

県に防災教育用 DVDなど寄贈

宮城建協

宮城県建設業協会(佐藤博俊会長)は19日、県に防災教育用DVD2000部と震災対応漫画本4000部を寄贈した。



高橋教育長(左)に贈呈する
佐藤会長

同協会は、地域の安心・安全の守り手として、東日本大震災の経験から、将来を担う若い世代に防災・減災の重要性を再認識してもらうため、防災教育用資料を作成した。

DVDには、地震などが発生した際の避難行動のあり方などを収録しており、児童にも理解しやすい内容となっている。震災対応漫画には、震災時の地域建設業の初動活動

を描いており、建設業の意義や魅力を感じてもらい、若者の入職促進につなげる。

この日は、佐藤会長らが県庁を訪れ、高橋仁県教育委員会教育長に目録を手渡した。

席上、佐藤会長は「私たちは町医者と同じで、県民の安心・安全を守る危機管理産業だ。作成した資料を地域の防災教育に活用してほしい」と語った。

これを受けて高橋教育長は「地元建設業界の皆さんには、震災後から復旧工事だけでなく、がれき処理や行方不明者の捜索活動などに取り組みんでもらい大変ありがたい。」

資料を活用して、人づくりに役立てていきたい」と話した。寄贈した資料は、県内の仙台市を除く幼稚園や小・中学校に届けられる。7月1日には、同市に寄贈する予定だ。

建設工業新聞

宮城県建設業協会(宮城建協、佐藤博俊会長)は、東日本大震災の経験を踏まえ教育の現場で防災・減災の意識を高めてもらう狙いから、防災教育用DVD『防災と減災』を作成した。

逃げることの重要性な

宮城建協

どを学んでもらう内容で、宮城県に2000枚を寄贈、18日に仙台市青葉区の県庁で贈呈式が行われた。併せて、震災時の建設業界の復旧対応を漫画で伝える冊子『知られざる英雄たち』も40

防災教育用DVD作成

00部を贈った。

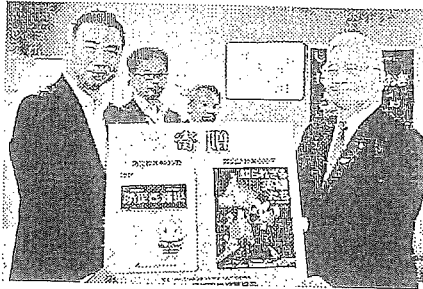
贈呈式では宮城建協の佐藤会長が県の高橋仁教育長に目録を手渡した。DVDと漫画本は、県内すべての幼稚園と小中学校に配布される。

贈呈式で高橋教育長は「建設業界の皆さんの経験を踏まえた形で、DVDを使っていただいた。災害には備えが大事であり、防災教育に活用したい。漫画冊子も素晴らしい内容だ。(建設業の活躍を広く知ってもらおうと)建設業を指す若者が増えるのではないか」と感謝の言葉を述べた。佐藤会長は「私たち

県教委に2000枚寄贈 仙台市にも

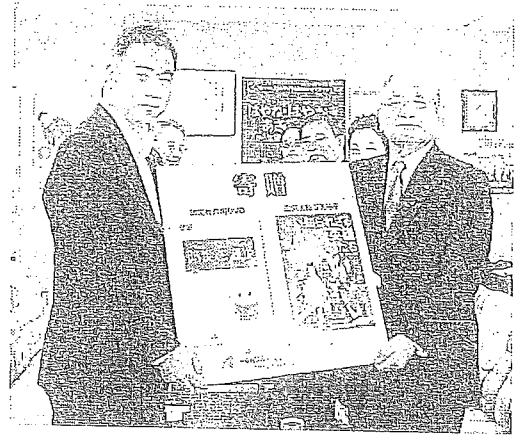
地域業者は町医者と同じで、身近になくはならない存在だ」と建設業の役割を説明した。

宮城建協は仙台市教育委員会にもDVDなどを贈呈する。7月1日に贈呈式が開かれる予定だ。



高橋教育長に目録を手渡す佐藤会長(左)

DVD2000枚贈呈



贈呈式で記念撮影する佐藤会長(右)と高橋教育長

若い世代の

防災教育支援

宮建協

宮城県建設業協会(佐藤博俊会長)は18日、子どもたちの防災教育の一助にしてほしいと同協会が制作したDVD「防災と減災」2000枚を県教育委員会へ贈呈した。同協会が東日本大震災を

経験し、一人ひとりの防災・減災に対する認識の重要性を痛感したことから、特に将来を担う若い世代への防災教育に生かしてほしいと制作した。当日、県庁の教育長室には、宮建協から佐藤会長はじめ千葉嘉春専務理事など5人が訪れ、高橋

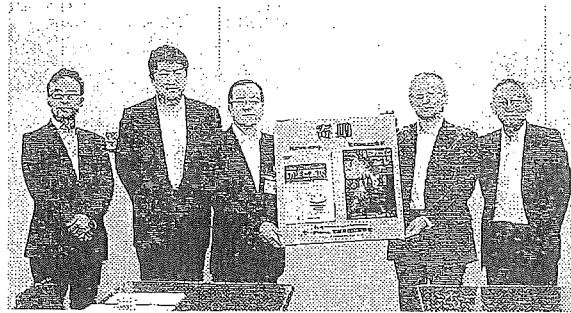
仁教育長にDVDと東日本大震災での建設業の活躍を記した漫画「知られざる英雄たち」を贈呈した。DVD2000枚、漫画4000冊が県内の幼稚園・小学校・中学校に配布される。

佐藤会長は「建設業界は、震災で危機管理産業として一生懸命やってきた。DVDをぜひ防災・減災教育の資料として活用してほしい」と述べた。高橋教育長は「今回の大震災では、道路啓開から捜索活動まで、建設業のみならず大きな力を発揮していただいた」と感謝を述べ、「そのような業界の経験を踏まえた素晴らしいDVDを作っていただいた。備えというものは大事だ。教育に活用していく」と話した。

DVDには、地震発生時の家庭や外出先での行動を分かりやすく紹介している。ハード面を整備

する建設業ではあるが、ソフト面である防災教育のために何かできないかという協会員の提案を受けDVDの制作に至った。漫画は、東日本大震災で自ら被災しながらも道路啓開などで、いち早く現場に駆け付け尽力した地元建設企業の活躍を描いている。地域の「町医者」として安心・安全を守る建設企業を正しく理解してほしいとの思いも込められている。

建設通信新聞



大越教育長(左)に目録を手渡す河合会長

仙台市に防災教育DVDなど寄贈

宮城建協
仙台建協

宮城県建設業協会(佐藤博俊会長)と仙台建設業協会(河合正広会長)は1日、仙台市教育委員会に防災教育用DVD130本と震災対応漫画本400冊を寄贈した。

東日本大震災の被災地で復興事業を担ってきた地域建設産業として、地元の子どもた

ちに防災・減災教育の重要性を再認識してもらおうと、避難行動のあり方などを収録したDVDや震災時の地域建設産業の初動活動などが描かれた漫画を作成した。

この日は、河合会長や県建設業協会の伊藤博英専務理事らが同委員会を訪問し、河合会長が大越裕光教育長に目録を手渡した。

席上、伊藤専務理事は「東日本大震災からの復興に向け、ハード面は着実に整備されつ

つあるが、地域の守り手として防災教育を促すことも重要だ」と語った。

これを受けて大越教育長は「震災から4年が経過し、震災の実感がない世代が小学校に入学し始めている。防災教育にぜひ役立てていきたい」と話した。

県協会は、6月に県教育委員会にも寄贈しており、今回を含め、近く県内すべての幼稚園や小・中学校に資料を届ける予定だ。

建設産業新聞

仙台市に防災 教育用DVD寄贈

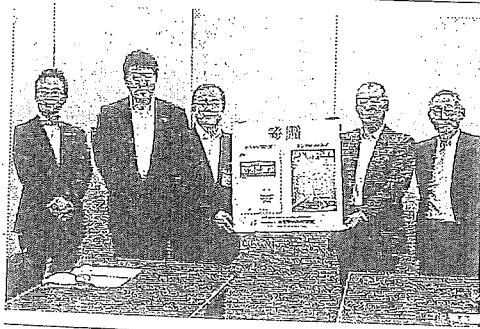
宮城 建協

宮城県建設業協会(佐藤博俊会長)は1日、仙台市内の小・中学生らに防災教育用DVD「防災と減災」を寄贈するため、大越裕光仙台市教育長を訪れ、目録を手渡した。

DVDは、災害時の対応や減災の考え方などを幼児にも分かるように解説したものを作成。仙台市内の幼稚園から小学校に130本配布すると同時に建設業の震災対応を

描いた「知られざる英雄たち」のマンガ本400冊も贈呈、市内全小中学校に配られる。

贈呈式には、河合正広仙台建設業協会会長、深松努同副会長、佐藤正基

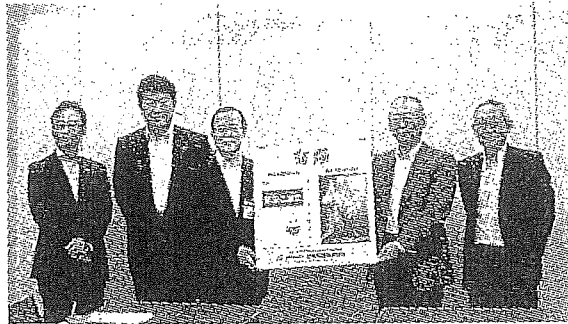


同専務理事、伊藤博英宮城県建設業協会専務理事が出席。河合会長は「津波対策にはハード面ばかりでなくソフト面からのアプローチも必要だと考え、映像化したものを製作した。防災減災教育に活用してほしい」とあいさつ。これに対し、大越教育長は「震災発生後の道路啓開など建設業界の尽力で、仙台のまちは復興が進んでいる。息の長い防災教育が必要とされ、家庭と共通認識できる防災教材として役立てていきたい」と感謝の言葉を述べた。

建設新聞

子どもたちの防災教育に活用

宮建協 仙台市教委にDVDを贈呈



宮城県建設業協会(佐藤博俊会長)は、幼稚園・

学校などを対象とした防災教育用DVD「防災と減災」と震災対応漫画本を製作し、1日に仙台市教育委員会へ贈呈した。

宮建協から伊藤博英専務理事、仙台建設業協会から河合正広会長、深松努副会長と佐藤正基専務理事が訪れ、大越裕光教育長にDVDと震災対応漫画本『知られざる英雄たち』を手渡した。

大越教育長は「これから防災教育は永久的に続

けていかななくてはならない。将来を担う子どもたちのためにも、このDVDは十分活用させていた

たく」と述べた。DVDには、将来を担う若い世代に向けて、防災・減災の重要性が盛り込まれている。今回、市内の幼稚園、小学校に130部、漫画本は市内全小中学校188校に400冊を送る。

宮建協は6月、県内全ての幼稚園、小学校、中学校に行き渡るよう宮城県教育委員会にDVD2000部、漫画4000冊を送った。

建設工業新聞

防災教育に活用を

宮城建協 仙台建協

仙台市教委にDVD寄贈

東日本大震災で得た教訓を多くの子どもたちに伝えようと、宮城県建設業協会(宮城建協、佐藤博俊会長)は1日、自前で製作した防災教育用DVD『防災と滅災』40枚と、震災時の建設業界の復旧対応を漫画で描いた冊子を仙台市教育委員会に寄贈した。同日、宮城建協の伊藤博英専務理事と、仙台建設業協会の河合正広会長らが大越裕光市教育長を訪問。河

合会長が、DVDなどの表紙を印刷したパネルを目録として大越教育長に手渡した。

DVDの内容は、災害時にいち早く避難することの重要性を分かりやすく伝えることに主眼を置いた。宮城建協は先月18日、宮城県教育委員会にもDVDと冊子を贈った。

冊子のタイトルは『知られざる英雄たち』。震災時の建設業界の初対応や復旧活動を漫画で表



現し、幅広い層が手に取りやすいよう工夫した。

贈呈式で伊藤専務理事は「DVDは東日本大震災の経験をビジュアルに訴え分かりやすく伝えるために製作した。復旧対応を経験した協会として、小さい子どもにも避難の重要性を伝える必要があると考えた」と製作意図を説明し、「防災教育に役立ててもらいたい」と述べた。

大越教育長は、震災復旧に貢献した建設業界への謝辞を述べた上で「震災当時に3〜4歳だった子どもたちが小学校に入学し始めている。震災を経験していない児童の数が年々増えており、その意味でも防災教育の重要性が増している。DVDは教材として活用させていただく」と応じた。

目録のパネルを持つ大越仙台市教育長と河合仙台建協会長